

インフォメーション

電食を予防する CFRP 用インサートナットなど、 軽量素材の使用を可能にする特殊ファスナーをクルマの軽量化技術展に出展

2018年1月17日から19日まで東京ビッグサイトで開催される第8回クルマの軽量化技術展に特殊ファスナーを出展します。

同展示会は、国内外の自動車メーカーが来場し、クルマの軽量化を目的とした最新の技術が紹介される日本最大級の展示会です。

当社は第1回から出展しており、今回の主な出展品は以下の軽量化技術です。

電食を予防する CFRP 用インサートナット「アルアーマ®ナット」

世界に比類ない、CFRP に使用するアルミ合金製のインサートナットです。高強度アルミ合金製で、電気絶縁性の極めて高い特殊な皮膜「アルアーマ®」を有し、CFRP の締結の課題を解決し、クルマの軽量化を実現します。

2017年6月から量産体制も整った商品です。

タッピン利用も可能。高強度アルミボルト

自動車用の高強度アルミボルトです。応力腐食割れリスクが少ない素材を用いています。オプションで当社特許の特殊陽極酸化処理を施すと、アルミ素材や GF-50 程度の樹脂素材に対しタッピンボルトとしての利用も可能です。

インマニなどに使用。樹脂用タッピンボルト「DELTA PT®」

ボス割れなく、高い軸力を保持し続けるドイツ EJOT 社開発の樹脂用タッピンボルトです。当社はライセンスとして本邦で製造販売しています。機械的強度にも優れ、相手の樹脂をいためない非常に高い再使用性を持つ究極のボルトです。インテークマニホールドなどに使用されています。

ハイテン・アルミ接合技術「FDS®・EJOWELD®」

昨年、当社により本邦初公開されたハイテン材とアルミ板などを接合するドイツ EJOT 社の技術です。クルマのスチール製のフレームなどをハイテン材とアルミ板の複合板に代えることで強度は担保したまま大きく軽量化することができます。

空転しにくい薄鋼板用タッピンねじ「シンカ®」

板厚 0.3mm の薄鋼板をバーリングなしでタッピン締結できるねじです。従来品の約 2 倍の破断トルクを有し、ねじ込みすぎても空転しません。相手材のバーリングをなくすことができ、加工コストなどものづくりの大きなコスト削減につながります。

世界で最も知られたスレッドフォーミングボルト「タップタイト 2000®ファスナー」

米国ビッグスリーをはじめ、BMW や Mercedes など欧米の自動車で多用されている M6 以上の太い径のボルトです。当社はライセンシーとして本邦で製造販売しています。下穴に対し雌ねじを塑性変形させながら成形するため、緩みに強く、タップたてコストを削減できます。

写真 アルアーマ®ナット



【本件に対する問い合わせ先】

株式会社ヤマシナ

マーケティング本部

京都市山科区東野狐藪町 16 番地

電話 075-591-3230 担当 古川、小松、池田